

2023年度事業報告について

総 括

2023年度は、3年目を迎えた「絆の会5か年中期事業計画」に沿って取組を進める中で、事業形態に様々な変化があった。

就労移行支援事業所「悠友ハウス就労支援センター」は、近年利用者の減少が続き安定した運営を維持することが困難なことから、2024年3月で閉鎖した。今後は会独自の就労支援チームを機能させて就職希望者のニーズに対応していく。グループホームでは、「リアン若里」が住居としての活用を終えて松岡地区に移転し、「リアン松岡」として新たにスタートした。地域に定着できるように地域行事等にも積極的に参加してきた。老朽化から閉鎖を検討してきた「クレール篠ノ井」は、入居者の転居先が決まり2024年3月に閉鎖した。今後は同じ篠ノ井地区にある「びーんず・あんだんて」の出張所としての活用を予定している。アパート形式のグループホームである「セルフイー平林」は、建物が古く空室が出て新しい入居希望者がいないこと、地域での生活を支えるサービスが充実してきたことから、2025年2月の賃貸契約終了を機に閉鎖を予定している。「地域活動支援センターあり方検討会」で協議してきた「皆神ハウス」については、閉鎖した「リアン若里」の場所に「オレンジ若里」として移転し、利用者主体の活動に力を入れた。また、若里地域の方の作品展示会の企画・開催をとおして地域交流も積極的に行った。長野市の委託事業である障害者相談支援と地域移行相談支援事業は、専門性の高い職員の確保が困難なため2024年度は受託しないこととした。

各種研修については引き続き職層に応じた研修の充実を図った。特に「中堅職員研修」においては、対象者を「短時間中堅職員」に絞り、精神障害者福祉の基礎に重きを置いた内容で開催した。主任会ではキャリアパスを用いて組織内での主任としての役割や具体的な取組を、実践と振り返りを繰り返しながら整理し、「絆の会のキャリアパス（主任部門）」を作成した。各事業所では、利用者支援について検討するための短時間のミーティングを定期的に行う等の工夫をし、事業所内の円滑なコミュニケーションと支援力の向上を図った。8月には全職員対象の全体研修として、旧優生保護法に関するテレビ番組を視聴し、「私たちの人権意識を高めよう」をテーマにグループ討議を行うことで、学びと自分たちにできることは何かを考える場を設けた。埼玉県で開催されたきょうされん全国大会には当事者・家族・職員合わせて15名（日帰り含む）で参加、また2022年度に開催し好評だった「サポーター・家族事業所見学会」を今年度も企画し18名と大勢の参加があった。新型コロナウイルス感染症が2類から5類になり、少しずつではあるが大勢で参加することや県外へ出かけるといった日常が戻ってきたと感じる場面が増えてきた。

10月7日には「絆の会法人化20周年記念事業」を、「語り合い 学びあい 未来へ伝えよう」をテーマに開催した。当日は「わたしの『好き』を実現しよう～障害者権利条約とともに歩む絆の会～」と題しきょうされん専務理事の藤井克徳氏をお招きし講演いただいた。1年半前から所長会主体で準備を進め、時に藤井氏を交えながら語り合い、ひまわりの会（当事者会）・各事業所のメンバー会・家族会・絆カフェ・所長会・全体会等様々な場面で話題にし、夢や希望、明るく希望の持てる未来とは？を語り合い、学びあい、4本柱それぞれの代表がシンポジストとして思いを伝えた。20周年で掲げた語り合いや学び合いを軸に様々なことに取組んだ1年となった。

I - 1 法人本部事業

1 会議等の開催状況

(1) 理事会、評議員会について（理事会4回、評議員会1回開催）

会議名	日付	審議内容	出席者
第1回 理事会	2023年 6月8日	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長及び業務執行理事の職務執行状況について ・ グループホーム「リアン松岡」移転後の状況について ・ 地域活動支援センター「オレンジ若里」移転後の状況について ・ 収益事業「絆の会松代温泉駐車場」進捗状況 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022年度事業報告（案）について ・ 2022年度決算報告（案）について ・ 基本財産の処分について ・ 諸規定の一部改正について ・ 長野市障害者相談支援事業について ・ 2023年度第1次資金収支補正予算（案）について ・ 就労支援事業における設備等整備積立金の積み立てについて ・ 新役員の選任候補者提案について ・ 福祉サービスに関する苦情処理規定に基づく第三者委員の選考について ・ 定時評議員会の招集について 	理事8名中7名出席 監事2名中1名出席
定時 評議員会	6月23日	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022年度事業報告について 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2022年度決算報告（案）について ・ 基本財産の処分について ・ 新役員の選任候補者の提案について ・ 役員等報酬規程の一部改正について ・ 福祉サービスに関する苦情処理規定に基づく第三者委員の選考について 	評議員9名中8名出席 理事4名出席 監事2名出席
第2回 理事会	6月23日	審議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長の選定について ・ 副理事長及び常務理事の選定について ・ 相談役の委嘱（案）について ・ 理事の職務分担（案）について 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ グループホーム「クレール篠ノ井」の今後について ・ 福祉サービスに関する苦情処理規定に基づく第三者委員の選考について 	理事8名中7名出席
第3回 理事会	11月16日	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長及び業務執行理事の職務遂行状況について ・ 事業終了に伴う補助金の返還について 	理事8名中7名出席

会議名	日付	審議内容	出席者
		<ul style="list-style-type: none"> ・収益事業「絆の会松代温泉駐車場」の状況について ・2023年度中間事業報告について 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度資金収支補正予算（案）について 	
第4回 理事会	3月21日	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・理事長及び業務執行理事の職務執行状況について ・就労移行支援事業所「悠友ハウス就労支援センター」の閉鎖について ・長野市障害者地域移行相談支援事業、長野市障害者相談支援事業について 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・諸規定の一部改正について ・2024年度事業計画（案）について ・2024年度資金収支当初予算（案）について ・施設長等の選任及び解任（案）について 	理事8名全員出席 監事2名中1名出席

(2) 監事による内部監査

5月27日 監事による2022年度事業及び決算監査

(3) 事業運営のための諸会議

運営会議（理事長、副理事長、常務理事、各統括管理者、相談役）	12回
経営会議（三役、事務長、所長、主任、事務局職員、相談役）	2回
責任者会（理事長、統括施設長、各統括管理者）	29回
所長会	10回
所長・主任会	2回
主任会	5回
職員全体会	4回

(4) 苦情解決関係等

7月14日 苦情解決担当者等会議

（苦情解決第三者委員、苦情解決責任者、苦情受付担当者、理事長、副理事長）

虐待防止委員会

（虐待防止委員長、副委員長、委員（苦情解決第三者委員、各所長、事務長））

11月24日 苦情関係者交流会

（苦情解決第三者委員、苦情解決責任者）

2 各種委員会・検討会等

(1) 絆の会サポート委員会	3回
(2) 職員処遇改善委員会	5回
(3) ホームページ管理運営委員会	11回
(4) ボランティア委員会	5回
(5) 当事者会（ひまわりの会）支援	12回
(6) 絆の会家族会支援	17回
(7) 災害・感染症等対策委員会	3回
(8) 法人化20周年実行委員会	6回

3 寄附金収入について

支援金 2,659,321円 (303件) ※前年度 3,051,444円 (315件)

4 事業一覧

(1) 社会福祉事業

- ① 多機能型事業 1 箇所
就労移行支援事業、就労定着支援事業、就労継続支援B型事業
- ② 就労継続支援B型事業 2 箇所 (3 事業所)
- ③ 共同生活援助事業 1 箇所 (4 グループホーム)
- ④ 短期入所事業 1 箇所
- ⑤ 自立生活援助事業 1 箇所
- ⑥ 地域活動支援センター 1 箇所
- ⑦ 相談支援事業 1 箇所
指定特定相談・指定一般相談
- ⑧ 受託事業
長野市障害者相談支援事業、長野市障害者地域移行支援事業

(2) 収益事業

絆の会松代温泉駐車場事業

5 施設、設備整備等について (主なもの)

(円)

施設名	整備内容	補助事業等	事業費	配分金額
法人本部	ノートパソコン	-	112,612	-
信州そば工房きずな	空調機入替工事	長野県令和4年度社会福祉施設等エネルギーコスト削減事業補助金	4,400,000	2,547,000
	麺切カッター	(公財)ヤマト福祉財団	1,683,000	1,514,000
	ノートパソコン	-	103,148	-
びーんず	空調機入替工事	長野県令和4年度社会福祉施設等エネルギーコスト削減事業補助金	2,420,000	1,520,000
リアン松岡	エアコン3台	-	352,214	-
みらいコーポ稲葉	冷蔵庫	-	189,070	-
オレンジ若里	駐車場整備工事	-	620,400	-
絆の会相談室	ノートパソコン	-	113,300	-

6 職員の採用・退職等の状況

(1) 採用 (13名)

正職員1名、嘱託職員12名

(2) 退職 (14名)

正職員5名、嘱託職員9名

7 職員の資質向上のための研修

(1) 内部研修・当法人主催研修 (計10回)

日付	研修会の名称と内容
5月19日	【新任職員事業所見学】 法人事業所9か所を巡回し、その事業所の成り立ち等を聴き現在の様子を見学した。新任職員9名参加。
6月16日	【新任職員研修Ⅰ 講師：当法人職員】 1 精神保健福祉の歴史から見た精神障害者の置かれている状況 2 絆の会の理念とあゆみ 3 会独自の活動を知る 4 グループワーク 日本の歴史の中で精神障害者の置かれてきた状況、当法人の理念やあゆみ、さらに会独自の活動を聞き、法人への理解を深めた。入職3年未満の職員13名参加。
6月28日	【ハラスメント及びメンタルヘルス研修】（就労系事業所職員対象） ハラスメントについては、職場でのハラスメント事例をとおしてグループで話し合いを行った。メンタルヘルスについては、厚生労働省の「こころの耳 5分研修シリーズ」を参照し、セルフケアを学んだ。
7月13日	【中堅職員研修（短時間職員対象）1回目 講師：当法人職員】 当法人職員を講師に「障害年金について」、当法人の中堅職員の中でも短時間の職員を対象に研修を実施。4名参加。
7月18日	【新任職員研修Ⅱ 講師：当法人職員】 事前課題として、当法人の法人化10周年記録誌である「出会い ふれあい そして絆へ PartⅡ」を読み感想を提出。当日は絆の会の4本柱である当事者、家族、ボランティア、職員それぞれの立場からのメッセージを通して障害理解を深め、日々の実践に役立てるとともに絆の会の一員としての姿勢を学んだ。9名参加。
7月27日	【ハラスメント及びメンタルヘルス研修】（地活・GH・相談事業所職員対象） ハラスメントについては、職場でのハラスメント事例をとおしてグループで話し合いを行った。メンタルヘルスについては、厚生労働省の「こころの耳 5分研修シリーズ」を参照し、セルフケアを学んだ。
8月1日	【中堅職員研修（短時間職員対象）2回目 講師：当法人職員】 当法人職員を講師に「障害年金について」、当法人の中堅職員の中でも短時間の職員を対象に研修を実施。2名参加。
8月9日	【職員全体研修】 「私たちの人権意識を確認し、互いの課題を担い合おう」と題し、ハートネットTVで放送された「特集 旧優生保護法を考える（2）“解決”への道」を視聴し、優生保護法や障害者権利条約など障害者福祉の必要な情報と知識を得た。その後のグループワークで視聴内容の感想や優性思想をテーマに語り合った。
10月20日	【新任職員研修Ⅲ 講師：絆の会職員】 1 病気と障害について 2 先輩職員の話 3 グループワーク 病気と障害の基本的な知識を習得し、支援力の向上を図るとともに、先輩職員の話からの学びやグループワークで互いに日々の活動を振り返ることで、自身の実践に活かした。9名参加。
12月8日	【職員全体研修】 「長野市障害者虐待防止・権利擁護研修会」の研修報告を3名の職員が行い、その後、意思決定支援をテーマにグループワークを実施。また、「ともに生きる」と題

日付	研修会の名称と内容
	して、太田前理事長のこれまでの障害者福祉現場での関わりの話をとおして、利用者との寄り添い方や話を聞くことの大切さなどを学んだ。

(2) 利用者支援のためのケース検討会

就労部門と地域生活部門 各2回、合計4回

参加者：精神科医師、精神保健福祉士、職員等

(3) 資格取得のための研修会

サービス管理責任者研修（基礎研修講義部分） 1名

(4) 福祉職員生涯研修（長野県社会福祉協議会主催）

新人育成担当者研修 2名

チームリーダー課程 3名

キャリアパス制度構築基礎研修 1名

管理者課程（人材育成応用編） 1名

(5) 県内外の各種研修会への参加

日付	研修名	主催	場所	人数
5/21	発達障害のある人の就労について	よつ葉の会	更北公民館	1
6/1、7/1	新人育成担当者研修	長野県社会福祉協議会	ホテル信濃路	2
6/6	第1回障害者虐待防止・権利擁護研修会	長野市	オンライン受講 (動画視聴)	5
6/9- 6/23	サービス管理責任者 基礎研修対応相談支援従事者初任者研修講義部分	長野県相談支援専門員協会	e-ラーニング	1
6/30 9/1	キャリアパス制度構築基礎研修	長野県社会福祉協議会	松本市浅間温泉文化センター	1
7/3、12、 14、20	長野県サービス管理責任者(基礎研修)	長野県相談支援専門員協会	Zoom	1
7/6	第28回全国障害者雇用事業所協会 長野県支部研修会	全国障害者雇用事業所協会 長野県支部	ホテル信濃路	1
7/24、25	福祉職員生涯研修【管理者課程】	長野県社会福祉協議会	東御市中央公民館	1
7/31 8/1	福祉職員生涯研修【チームリーダー課程】	長野県社会福祉協議会	長野地域職業訓練センター	3
8/17	市町村発達障がい支援担当者連絡会	長野県発達障がい情報・支援センター	松本市勤労者福祉センター	1
8/30、31	きょうされん第46回全国大会 in 埼玉	きょうされん	さいたま市大宮ソニックシティ	6
7/26	千曲・坂城地域自立支援協議会 地域連絡会	千曲・坂城地域自立支援協議会	千曲市ふれあい福祉センター	1
9/8	福祉職員生涯研修【管理者課程（人材育成応用編）】	長野県社会福祉協議会	ホテル信濃路	1

日付	研修名	主催	場所	人数
9/27	北信ブロック事業所訪問研修	長野県セルフセンター協議会 北信ブロック事務局	NPO 法人まいペース 楓舎	1
10/3- 10/6	訪問型職場適応援助者養成研修	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構	千葉市 障害者職業総合センター	1
10/6	長野県自立支援協議会フォーラム	長野県健康福祉部	塩尻市 長野県総合教育センター	2
10/11	北信ブロック事業所訪問研修	長野県セルフセンター協議会 北信ブロック事務局	ワークス上駒	1
10/12	第2回障害者虐待防止・権利擁護研修会	長野市	長野市東部文化ホール	3
10/13	管内保健医療福祉関係者等研修会（感染症対策）	長野市保健所	長野市	1
10/20	福祉職員生涯研修【新任管理者課程】	長野県社会福祉協議会	長野地域職業訓練センター	1
10/23	精神保健福祉担当者基礎研修会	長野県精神保健福祉センター	YouTube 視聴	1
10/30	第19回日本グループホーム学会オンライン全国大会	日本グループホーム学会	オンライン受講（動画視聴）	3
11/2、9	相談支援従事者専門分野別研修	長野県相談支援専門員協会	Zoom	1
12/7	リカバリー全国フォーラム2023	認定 NPO 法人コンボ	オンライン受講（動画視聴）	1
12/14、 15	甲種防火管理新規講習	(一財)日本防火・防災協会	松本市総合社会福祉センター	1
12/16、 17	就労支援フォーラム NIPPON 2023	日本財団	ベルサール渋谷ファースト	2
12/19	BCP 作成支援セミナー	(公財)介護労働安定センター長野支部	長野市障害学習センター	3
1/15- 1/18	職場適応援助者養成研修実技研修	長野障害者職業センター	長野市、上田市、等の企業	1
1/23	第2回長野県セルフセンター協議会北信ブロック会議	(特非)長野県セルフセンター協議会	長野上水内教育会館	1
2/3	長野社会復帰促進会 講演会と交流会	長野社会復帰促進会	長野市ふれあい福祉センター	1
2/17	2023年度 安居楽業ゼミナール	きょうされん	東京都生協連会館	1
2/21	第3回障害者虐待防止・権利擁護研修会	長野市	長野市勤労者女性会館しなのき	2
2/24	障がい福祉サービス事業所等の管理者向け障がい者虐待防止・権利擁護研修	長野県	オンライン受講（動画視聴）	1

8 研修会等への講師の派遣（計6回）

日付	内容	主催	場所	氏名
6月30日	精神看護学方法論	長野保健医療大学	長野保健医療大学	西川洋介
8月31日	若槻養護学校高等部進路学習会	長野県若槻養護学校	長野県若槻養護学校	中澤信
11月8日	障害者職業生活相談員資格認定講習	高齢・障害・求職者雇用支援機構	ホテル信濃路	荒谷麻美子
12月6日	ときわ会 学習会	須坂市精神障害者家族会 ときわ会	信州・須坂温泉古城荘	横山真紀子 川俣伸枝
12月11日	精神看護学方法論	長野保健医療大学	長野保健医療大学	西川洋介
12月13日	精神保健福祉援助実習報告会	長野大学	長野大学	中澤信

9 当事者・家族・ボランティア活動への支援

(1) 当事者活動への支援

① 当事者会（ひまわりの会）の支援

「事業所の枠を越えた当事者同士の交流」「情報交換や学び合いの場づくり」を目的に活動。今年度は、昨年度に好評だった「集まって楽しい話をする会『ひまトーク』」を定期的に開催した。また、活動内容の周知のため、「ひま会新聞」を定期発行した。

<活動内容>

- ・役員会 月に1回（計12回）
- ・三役打ち合わせ会（当事者の三役と担当職員が参加） 月に1回（計12回）
- ・6月30日（金） 第10回定期総会、ひまトーク（テーマ：麺類～あなたの推し麺なんでしょうか？～）を開催
- ・8月30日（金）、31日（土） きょうされん第46回全国大会 in 埼玉（ひまわりの会から費用補助を支出し、当事者4名が参加）
- ・8月31日（金） ひま会新聞を発行
- ・10月13日（金） ひまトーク（テーマ：音楽）を開催
- ・11月30日（木） ひま会新聞発行
- ・1月17日（水） ひまトーク（テーマ：漫画・アニメ・映画・ドラマ）を開催
- ・2月29日（木） ひま会新聞発行

② スポーツ活動（ソフトバレーボール）

<会議状況>

スタッフ会議 月1回実施

メンバーミーティング 年3回実施

<活動状況>

毎週水曜日 13:30～16:00 長野市中部勤労青少年ホームにて活動。

練習試合 2023年5月20日（土）、7月22日（土）、8月20日（土）

2024年3月2日（土）

<大会結果>

- * 第23回全国障害者スポーツ大会 精神障害者ソフトバレーボール競技 北信越・東海地区ブロック予選会

2023年6月10日（土）、11日（日） 新潟県聖籠町町民会館

成績：3位決定戦敗退

* 令和5年度北信地区スポーツ交流会（ソフトバレーボール大会）

2023年6月23日（金） 長野運動公園総合体育館

成績：優勝（県大会出場決定）

* 令和5年度長野県障がい者スポーツ大会（ソフトバレーボール大会）

2023年9月10日（日） 開会式・競技会場：朝日村農業者トレーニングセンター体育館

成績：優勝（北信越・東海地区ブロック予選会出場決定）

③ 絆の会合唱団活動報告

練習日 毎月第2、第4火曜日

練習回数 20回

練習曲 「にんげんっていいな」「きみの笑顔すてきだから」「その手の中に」他

演奏・出演 6月13日 絆の会家族会総会

10月7日 絆の会法人化20周年記念事業

11月25日 信濃のうたごえ祭典 in ながの「しあわせいっぱい」の会

12月26日 しあわせいっぱいミニコンサート

(2) 家族会への支援（事業報告は別紙）

① 会合や研修会の出欠席の取りまとめと名簿作成

② 家族会費の徴収

③ 役員会（月1回）への出席

④ 研修会への情報提供（お誘い）

※運営については相談や調整役に徹し、ご家族の主体的な活動を大事にしている。

(3) ボランティアの活動状況（ボランティア登録人数 75名 実延人数 87名）

① 各事業所ボランティア（各事業報告に記載）

② 精神保健福祉ボランティア養成講座

日 程：2024年1月25日、2月1日、8日、29日

場 所：法人本部多目的スペース

参加者：32名（部分参加者含む） 延人数：109名

内 容：精神保健福祉の制度や、病気の理解、関わり方、について学ぶ。

障害当事者、家族、ボランティア、職員の体験発表を聞く。

講 師：川中島Fメンタルクリニック 福家知則氏、当法人職員

ボランティア体験実習：2月13日～2月27日の間の2日間、希望日に合わせて

絆の会各事業所で行った。

2月29日、修了証書を19名に授与（うち12名がボランティア活動を希望）

③ ボランティア委員会の活動（絆カフェ運営委員会を含む）

委員会：4月、6月、9月、10月、3月 全5回

④ ボランティア交流会：11月9日（各事業所のボランティア活動の紹介と演奏会）

⑤ 毎月第3木曜日 絆カフェの開催

⑥ 精神保健福祉ボランティア養成講座への協力・ボランティア体験発表

10 広報・普及活動

- (1) 社会福祉法人絆の会法人化20周年記念事業 2023年10月7日(土) 11:00~16:30
 場所 長野市若里市民文化ホール
 来場者数 270名余

記念式典 個人への表彰 9名
 基調講演 「わたしの『好き』を実現しよう～障害者権利条約とともに歩む絆の会～」
 講師 きょうされん専務理事 藤井克徳 氏
 シンポジウム 「4本柱が描く希望の持てる未来」
 ステージ発表 絆の会合唱団による合唱、みんなで踊ろう「ジャンボリミッキー」
 (ホワイエ)
 各事業所自主製品の販売、喫茶りんどろ「コーヒー販売」、野菜販売
 外部協力(芹田小学校、いなりやま福祉会、楓舎、なな色日和、ベーカリーCoCo、縁、きょうされん、長野県共同募金会、和田登氏)
 イラストコンテスト

- (2) 「ハートレター絆」の発行(ボランティア2名)
 年5回(第120~124号)各500部発行
 若里地区内(南市、北市、若里中央、上千田、荒木、若里西町)の回覧
 (3) ホームページによる発信(ボランティア2名)
 ・ 法人化20周年 トップページにバナー設置
 ・ ボランティア-活動内容と募集内容の見直し
 ・ 各事業所のリーフレット内容の見直し
 ・ あんだんてお客様用ページ 値段改定 他

11 障害者の地域生活向上に向けた取組

- (1) 長野市障害ふくしネットへの参加
 (2) きょうされん等他団体との連携、協同
 (3) 障害者福祉推進のための活動への参加(署名活動や国会議員への陳情)

12 苦情内容及び結果

申出人	件数	内容	結果
利用者	1	地域活動支援センターの職員の言動に対して不快な思いをした。なぜそのような言動をしたのか真意を知りたい。	苦情解決責任者が本人と面談の時間を持ち、本人の話を十分に聞き、その後該当事業所の所長と該当職員を交え面談をし、解決した。
利用者	1	以前地域活動支援センターを利用していただいた方から、数年前の事業所内でのトラブルについて、当時の関係者からの謝罪文がほしい。	苦情解決責任者が本人と何度かメールのやりとりを重ね、当時の地域活動支援センター所長から謝罪文を送付した。

Ⅱ－1 2023年度 多機能型事業（就労移行支援・就労定着支援・就労継続支援B型） 事業報告

1 悠友ハウス就労支援センター（就労移行支援） 定員 6 名
長野市若里三丁目14番23号 TEL：026-219-5131 FAX：026-219-4701

(1) 総括（重点目標及び報告、課題）

<p>① 各種プログラム内容の整理</p> <p>生産活動では企業先での作業を3か所で行った。課題発見や対処法の習得、企業の雰囲気、緊張感を感じ、働くイメージを持つ機会となった。ワークサンプルでは記録用紙やアセスメントシートを整理し、職員が評価するポイントをまとめた。余暇ではボランティアと太極拳を月1回実施。慣れるにつれて、会話を楽しめるようになった利用者もおり、良い交流の場となった。</p> <p>【課題】一般就労に向けてステップアップしている感覚が持てるよう、就職までの流れの見える化 ボランティアとの活動の充実</p> <p>② 個別支援の充実</p> <p>利用者の希望を聴きながら、定期的に企業見学を実施。また実習先の企業担当者に評価シートの作成を依頼し、それを利用者と共有したことで課題の発見や自信に繋がった。</p> <p>【課題】利用者の希望に沿った企業見学・実習の実施</p> <p>③ 利用者増に向けた取り組み</p> <p>地域の方と共に学ぶ場として公開講座を2回開催。生産活動、プログラム体験や外部講師によるビジネスマナー講座などを実施。就労移行支援の内容を知る場となった一方で、外部からの参加者が限られ、課題を残した。</p> <p>【課題】地域に活動を知ってもらう場の提供（作業体験会の実施など）</p> <p>④ 職員の資質の向上</p> <p>利用者対応など日々の困りごとについて、その都度話を聴く時間を作った他、週1回支援ミーティングを実施したことで、支援方法を確認する場となった。その他、外部研修に積極的に参加し、支援力の向上に努めた。</p> <p>新規利用者3名 見学者8名 延べ利用者数：2022年度1,259名、2023年度650名</p> <p>【課題】日頃から気軽に相談し合える雰囲気づくり</p>

(2) 就職者状況

就職者：1名 就職先：直富商事株式会社

(3) ボランティア支援状況

生産活動（大日本法令印刷）3名、余暇（太極拳）5名

2 悠友ハウス就労支援センター（就労定着支援）

長野市若里三丁目14番23号 TEL：026-219-5131 FAX：026-219-4701

(1) 総括（重点目標及び報告、課題）

① サービス終了後を見据えた支援の実施

利用者とサービス終了後の支援機関が計画的に顔を合わせる場を設け、先の見通しを持てるように支援した。一部の利用者についてはサービス終了後も障害者就業・生活支援センター等関係機関と連携しながら情報提供するなど、必要な支援を継続した。

【課題】雇用主が利用者と主体的に関わるためのサポート

② 個別支援の充実

欠勤が多い利用者に対して、本人の気持ちを聴き、どうしたら出勤できそうかを一緒に考える場面をその都度作った。同時に雇用主とも情報共有や対応方法について相談した。結果、雇用主の障害理解にも繋がり、安定して出勤できるようになった。その他、当法人B型事業所の就職希望者が就職後、スムーズに就労定着支援を利用できるように就労支援チームと情報共有した。

【課題】サービスが終了した利用者の状況把握と就労支援チームとの連携

③ 企業への誠実な対応

雇用主にはこちらからの定期的な連絡や訪問を続け、雇用主、利用者双方の様子を把握するよう努めた。また困りごとには利用者への指示の出し方の提案や障害特性について助言するなど迅速に対応した。

【課題】雇用主の困りごとに適切に対処するための支援力の向上

(2) 利用者状況（就業開始順）

人数：10名（男性8名、女性2名） 新規利用者：4名

勤続年数：1年未満 2名、1年以上～2年未満 2名、2年以上～3年未満 3名、
3年以上 3名

就職先：千曲市役所、長野ベリーファーム株式会社、カイシンエレクトロニクス株式会社長野南工場・豊野工場、株式会社ツルヤ青木島店・須坂西店、トランコム株式会社、信学会、ホテル国際21、直富商事株式会社

3 悠友ハウス（就労継続支援B型） 定員25名
 長野市若里三丁目14番23号 TEL：026-219-5131 FAX：026-219-4701

(1) 総括（重点目標及び報告、課題）

① 利用者の特性に合わせた環境整備と作業量の確保 軽作業では利用者が落ち着いて作業ができるように作業室を分け、レイアウトの変更、パーティションで仕切る、張り紙を使って資材置場を見える化するなど工夫した。また、こまめに取引先に連絡することで年間を通して安定した作業量を確保した。夏場のアウトワーク作業では熱中症対策として、作業時間の短縮や半日交代のシフトを組んで対応した。販売ではイベント販売への積極的な参加、出張販売先を増やし対応したことで、売上増に繋がった。新規利用者2名（見学者7名）。延べ利用者数：2022年度5,794名 2023年度5,378名 【課題】 利用者が落ち着いて作業ができる環境づくり 作業量の確保と工賃アップ
② 利用者の主体性を大切にしたい取り組み 行事では幹事の利用者が中心にメンバー会や朝の会、幹事同士の話し合いを設け、「参加しやすい会費はいくらか」や「大勢参加できる日が良い」など活発な話し合いを行うことができた。「みんなと協力して最後までできて嬉しかった」との感想もあり、利用者の自信に繋がった。 【課題】 利用者が役割を持ち、「自分たちの力でできた」と思える経験の積み重ね
③ 就労移行との連携 就職希望者には公開講座参加の促しや就労プログラムを体験してもらうなどし、スムーズに就労移行支援へ移行できるよう支援した（移行者数：1名） 【課題】 就職希望者の課題発見や対処法習得、評価、働くイメージを持つ場としての作業確立
④ 個別支援計画に基づいた支援と職員の質の向上 利用者対応の困りごとについてスタッフ会や朝のミーティング、支援ミーティング、その他、必要に応じて時間を確保するなど話し合いの場を確保して対応した。 【課題】 職員同士で気軽に相談し合える雰囲気とやりがいを持てる職場づくり

(2) 作業種目・売上・工賃（単価：円、賞与を含む）

作業種別	時給	売上額		工賃平均月額	
		2022年度	2023年度	2022年度	2023年度
軽作業	110	1,214,526	1,104,160	2,519	2,355
アウトワーク	550	1,317,594	955,111	12,451	8,382
清掃	650	994,683	1,040,766	8,418	7,199
販売、Kizuna Shop	200	5,245,543	5,799,745	3,395	4,375
印刷	150	1,640,224	1,720,348	3,464	12,237
ポスティング	5 (1枚あたり)	33,258	41,170	1,134	2,059
ワゴンカフェ	500円	83,701	67,166	10,152	6,200
全体		10,529,529	10,728,466	7,643	7,689

Ⅱ－２ 2023年度 就労継続支援B型事業 事業報告

- 1 信州そば工房きずな 定員20名
 長野市柳原659-1 TEL：026-263-9788 FAX：026-217-5220

(1) 総括（重点目標及び報告、課題）

① 生産活動の充実と工賃の向上

麵製造では、(公財)ヤマト福祉財団の助成により自動麵切りカッターを購入し、作業効率の向上に繋げている。また、そば商品の開発と改良を重ねたことで、新規取引先を開拓することができた。原材料や資材費の高騰により、一部の取引先とは価格の見直しを行った。販売では、関係機関や法人関係者、地域の方々に、チラシやメールで予約注文の案内を継続して行うことで、新規顧客の獲得に繋がった。しかし、既存の取引先の中には売り場変更や縮小等の理由から大幅に受注量が減少した箇所もあり、全体の売り上げや製造量に影響した。施設外の援農作業は、職員体制・配置が困難なことや、トイレや休憩場所がないといった作業環境等の課題解決が難しく、作業を終了した。代わりとして、野菜の計量と袋詰めを所内で開始し定着することができた。

軽作業では希望者が増えるなか、麵類のシール貼りを中心に行い作業量を確保した。

【課題】 1日を通した作業量の確保、商品価格の改定

② 利用者増と定着

送迎サービスは、2名を対象に毎日継続した。利用者からの要望や状況に応じて送迎を行ったことで利用の定着に繋がった。

新規利用者2名(見学者5名)。延べ利用者数：2022年度3,011名、2023年度2,728名

【課題】 送迎のルート拡充と体制の確保、関係機関への広報

③ 職員の資質向上と支援の充実

支援ミーティングを定期的で開催し、利用者の状況や支援の方向性を検討してきたことで、資質の向上と利用者支援に活かすことができた。

【課題】 支援ミーティングであがった課題への継続した取組

④ 地域に根差した活動の充実

布野区の花火大会に協賛し、参加した。地区の役員さんからは次年度開催予定のイベントへの参加依頼を頂くなど地域との交流を深めることができた。

【課題】 地域活動への参加、販売活動の取組み

(2) 作業種目・売上・工賃（単価：円、賞与を含む）

作業種別	時給	売上額		工賃平均月額	
		2022年度	2023年度	2022年度	2023年度
製造・販売	500～600	12,383,612	12,233,666	21,294	25,373
援農	250～500	386,587	241,352	3,912	8,005
その他	150～350	131,591	97,680	1,478	2,188
全体		12,901,790	12,572,698	20,346	21,346

(3) ボランティア支援状況

麵製造1名、昼食時の交流2名、援農1名、レクリエーション1名

2 びーんず（主：びーんず） 定員10名
 長野市篠ノ井御幣川1233-1 TEL：026-214-5446 FAX：026-214-5449

(1) 総括（重点目標及び報告、課題）

<p>① 利用者の活躍の場づくり 個々の利用者に対し、今後の希望に関するアンケートとそれを踏まえた面談を実施し、興味・関心の把握に努めた。興味・関心が高い項目を参考に作業分担の割り振りを工夫し、スキルアップに意欲的に取り組めるよう促した。作業マニュアルは、作成者以外の職員や利用者からの意見を取り入れ、より使いやすく、分かりやすく改良を行った。メンバー会を定期的開催し、様々な利用者が司会を担うことができた。また、体験発表できる利用者は、積極的に発表の場に参加した。 【課題】 文字や写真だけでなく映像を活用したマニュアル作成。レベルアップ基準の明文化。</p> <p>② 利用者同士の交流の促進 メンバー会の開催により、従事する作業種目が異なる利用者同士が面識を持つことができた。また、20周年記念事業に向けた取り組みで夢について話したことが、新たな一面の発見に繋がった。 【課題】 交流を目的とした行事の開催。</p> <p>③ 工賃アップに向けた取り組み 菓子事業において、月に1度を目安にイベントへの出店を行い、認知度の向上、売上アップに努めた。また、新商品を17種開発し、季節に応じた商品の入れ替えを行うことでお客様を飽きさせないよう工夫した。軽作業は、昨年度から受注を開始した箱折り作業が定着し、年間を通して安定した作業量を確保することができた。 【課題】 菓子の週末の販路開拓。軽作業の作業確保。</p> <p>④ 一般就労を希望する利用者への支援体制の強化 今後の希望に関するアンケートと面談のなかで、一般就労についてもお聞きし、意向の把握に努めた。悠友ハウス就労支援センターと連携し、企業見学を複数回行った。 【課題】 一般就労へ向けてのステップやそれに伴う支援をわかりやすく提示できるような資料の作成。企業見学や卒業生の体験発表など一般就労への意欲が沸くような機会の設定。</p> <p>⑤ 職員の資質向上 昨年度から継続して取り組んでいる支援ミーティングで検討した働きかけを実行したことで、利用者の良い変化があったと実感できた。職員間で、普段から支援や対応について話題にあがることが増加し、より良い支援をしようという雰囲気が育った。また、今後の希望に関するアンケート後の面談を全職員が行ったことで、利用者との関係構築に繋がった。 述べ利用者数：2022年度2,363名 2023年度2,157名 【課題】 支援ミーティングの継続。研修への参加機会の確保。</p>
--

(2) 作業種目・売上・工賃（単価：円、賞与を含む）

作業種別	時給	売上額		工賃平均月額	
		2022年度	2023年度	2022年度	2023年度
菓子製造（販売）	570・650（300）	6,980,346	7,511,460	11,309	16,703
軽作業（ノバ、OGT含む）	20～150	446,866	562,663	3,083	3,217
全体		7,427,212	8,072,123	8,077	10,138

(3) ボランティア支援状況

作業補助・交流（OGT） 1名

3 びーんず（従：あんだんて） 定員10名
 長野市篠ノ井布施高田832 TEL・FAX：026-213-6122

(1) 総括（重点目標及び報告、課題）

- ① 今後の事業展開の検討
 年度途中で物価高騰に対応するため価格改定を行ったが、常連客は変わらず利用していただけていることから、地域で愛されるお店として定着していることを実感した。職員の入れ替わりや欠員があり、今後の事業展開について十分な検討の時間をもつことが難しかったが、引き続き地域に根差したお店、利用者の力が発揮できる事業内容の検討を続ける。
【課題】 建物の老朽化への対応や更衣室や駐輪場、休憩スペースなど設備の整備が必要。
- ② 利用者増
 積極的な見学・体験の受け入れを行い、2023年4月から2名の新規利用に繋がった。長野市南部障害者相談支援センターを中心に相談支援の関係者に対して、情報発信を行った。
【課題】 作業や調理初心者でも取り組みやすい作業内容の充実。配布資料の工夫
- ③ 利用者のスキルアップ機会の充実
 調理実習の時間を個別に設けることは難しかったが、日々の作業のなかで新たに調理を担当していただくなど作業の割り振りを工夫し、スキルアップの機会を持つことができた。弁当厨房では、午後の仕込み作業が定着し、調理に携わる利用者を増やすことができた。軽食店舗では、年度途中でレジスターの入れ替えと価格改定があったため、その都度レジ打ちの練習会を実施した。県庁ワゴンカフェ販売では、始めの会、終わりの会を新たに開始した。始めの会では声掛けやノックの仕方など販売の一連の流れを練習し、終わりの会では業務の振り返りを行い、利用者が自信を持って業務に取り組めるよう工夫した。
【課題】 調理を任せられる利用者を増やしていくため、引き続き、スキルアップの機会を工夫して作っていく。マニュアルの整備・改良。
- ④ ボランティアとの連携、積極的な受け入れ
 職員の欠員や欠席時に、既存のボランティアに活動日を増やしてもらい対応することができた。新規のボランティアは獲得できなかった。
【課題】 新規ボランティアの獲得。
- ⑤ 職員間の連携強化
 支援ミーティングや朝会の実施を通して、利用者の様子や作業予定、状況についての情報共有がスムーズに行えるようになった。
 延べ利用者数：2022年度 2,044名、2023年度 2,074名
【課題】 びーんずとの連携強化のため、スタッフ会以外での連絡体制を整える必要がある。支援ミーティングの継続的な開催。

(2) 作業種目・売上・工賃（単価：円、賞与を含む）

作業種別	時給	売上額		工賃平均月額	
		2022年度	2023年度	2022年度	2023年度
軽食・弁当	420・450 (300)	9,491,327	9,613,616	14,498	17,181
施設外	400	936,897	1,236,225	12,174	15,624
ワゴンカフェ	500～700	393,890	417,145	11,236	9,709
全体		10,822,114	11,266,986	13,600	15,790

(3) ボランティア支援状況

調理1名、施設外（法令印刷）1名、野菜等提供2名

II-3 2023年度 多機能型事業・就労継続支援B型事業 その他事業報告

1 利用者の状況・構成

(名)

		悠友ハウス (就労移行)			悠友ハウス (就労定着)			悠友ハウス (B型)			信州そば工房きずな			びーんず・あんだんて		
		男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
登録者(内アセスメント中)		3	0	3	6	4	10	31	9	40	13	5	18	9	21	30
年齢層	10代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	20代	1	0	1	1	1	2	8	1	9	3	1	4	0	3	3
	30代	0	0	0	0	2	2	3	1	4	1	1	2	1	7	8
	40代	2	0	2	1	1	2	7	2	9	2	2	4	3	2	5
	50代	0	0	0	4	0	4	7	4	11	5	1	6	4	3	7
	60代	0	0	0	0	0	0	4	1	5	1	0	1	0	4	4
	70代	0	0	0	0	0	0	2	0	2	1	0	1	1	1	2
平均年齢(歳)		39.6	0	39.6	47.3	33.5	40.4	44.6	46.7	45.7	47.3	34.8	41	50.3	43.0	45.2
手帳保持	精神保健福祉手帳	3	0	3	5	3	8	26	7	33	9	2	11	7	14	21
	その他(療育手帳等)	0	0	0	1	1	2	5	2	7	3	3	6	2	6	8
障害者年金受給者		2	0	2	5	4	9	27	8	35	9	5	14	7	13	20
生活保護受給者		0	0	0	0	0	0	3	1	4	2	0	2	3	3	6
生活の場	家族(両親)と同居	3	0	3	3	2	5	18	5	23	8	1	9	4	12	16
	家族(その他)と同居	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	2	4
	グループホーム	0	0	0	0	0	0	8	1	9	2	1	3	1	0	1
	一人暮らし	0	0	0	3	2	5	5	2	7	2	2	4	2	7	9
入所者		3	0	3	1	3	4	0	2	2	2		2		4	4
退所者		1	1	2	2	2	4	3	1	4	2		2	2	6	8
退所先	就職	1	0	1	0	0	0	0	0	0					1	1
	他施設利用	0	1	1	1	0	1	1	0	1	2		2	2	3	5
	その他	0	0	0	1	2	3	2	1	3					2	2
就労アセスメント		2	3	5												
アセスメントの通所先後	悠友ハウス就労支援センター	0	0	0												
	法人内B型事業所	0	1	1												
	他法人事業所	2	1	3												
	その他	0	1	1												

2 職員の有資格者

(名)

	悠友ハウス (就労支援)	悠友ハウス (B型)	信州そば工房きずな	びーんず・あんだんて
精神保健福祉士	1	2	1	2
社会福祉士			1	2
作業療法士	1			
調理師				1
管理栄養士				1

3 会議の開催日数

B型会議	B移会議（年6回） 拡大会議（年6回） 事例検討会（年4回） 研修報告（年2回） 利用者増WG（年12回） 就労支援WG（12回） 販売促進WG（年6回）
スタッフ会	年12回

4 実習・視察研修受け入れ（実習人数 42名、視察研修人数 26名） (名)

日付	実習・視察内容	悠友ハウス (就労支援)	悠友ハウス (B型)	信州そば 工房きずな	びーんず・ あんだんて
6/7～6/30のうち 9日間	稲荷山養護学校前期実習				3
6/15、19	長野看護専門学校地域・在宅 看護論実習	2	2		2
6/19～6/23	若槻養護学校前期実習		1		
9/4～9/26	日本福祉大学精神保健福祉援 助実習		1		
9/21	清泉女学院大学看護学部実習		3		
10/5	清泉女学院大学看護学部実習			3	
10/11～11/17のう ち24日間	稲荷山養護学校後期実習				6
11/2、16	清泉女学院大学看護学部実習				5
11/30	清泉女学院大学看護学部実習	1	2		
12/21、2/21	長野保健医療大学実習	2	2		3
1/25	清泉女学院大学看護学部実習			2	
2/13～2/22	長野大学精神保健福祉援助実習		1		
3/14, 19, 21, 22, 25	若槻養護学校職場実習		1		
4/25	稲荷山養護学校保護者見学		3		
7/25	信州大学教育学部附属特別支 援学校施設見学		3		
10/17	長野養護学校事業所訪問研修		2		
3/28	放課後等デイサービスさくらぼ見学		18		
合計		5	39	5	19

5 当事者研修参加報告（参加総数 5名） (名)

日付	研修名	会場	悠友 (就支)	悠友 (B型)	信州そば 工房きずな	びーんず あんだんて
4/24	ヤマト福祉財団 助成金贈呈式	サンマリーン長野			1	
8/30, 8/31	きょうされん全国大会 in 埼玉	大宮ソニックシティ	1	2		1

Ⅲ 2023年度 共同生活援助事業 事業報告

絆の会地域生活センター 定員17名 長野市稲葉

1 総括

2023年度は、「リアン若里」が松岡地区に移転。「リアン松岡」に名称を変更し、新たな地域での生活がスタートした。地域に定着できるよう、地域行事などにも積極的に参加し、周囲との良好な関係づくりに努めた。

「クレール篠ノ井」は建物が老朽化し生活場所として適さなくなったため、2024年3月をもって閉鎖。利用者は、家族・相談支援専門員・関係者と話し合いを重ねながら、9月1名、11月1名、3月2名が新しい生活場所へ転居した。

「セルフイー平林」は建物が古く、見学者がきても他の新しいグループホームを希望する人が多く空室が埋まらないため、2025年2月の賃貸契約終了を機に閉鎖予定である。

職員体制については利用者が安心して生活できるよう、また多様なニーズに対応できるよう、複数職員による支援体制を実施した。かかわる場所が増えたことで利用者・職員ともグループホーム全体へと関心が広がり、全体交流への要望が上がる等活動が活発化してきた。一方、チーム支援を行ううえで欠かせない、職員間のコミュニケーションや情報共有の方法などに課題が残った。

職員のスキルアップのために、勉強会を継続して行ったほか、支援ミーティングを定期的に行う機会を設け、資質向上に努めた。

マスク、手洗い、うがい等の感染対策は継続してきたが、新型コロナが5類に移行し、生活は少しずつ元に戻りつつあり自由に外出を楽しんだりしている。

2 各グループホームの職員体制及び有資格者

管理者	1名	
サービス管理責任者	1名	
セルフイー平林	}	世話人（日勤）2～4名 ※みらいコーポ稲葉は上記に加え早番1名、宿直1名（24時間体制）
リアン松岡		
クレール篠ノ井		
みらいコーポ稲葉		
看護師	2名	
介護福祉士	1名	

3 入退所者数

入所1名、退所4名 法人内グループホームへの転居1名

4 会議等

グループホーム会議	年12回
みらいコーポ稲葉スタッフ会	年6回
事例検討会	年4回
職員勉強会	年6回

5 各グループホームの状況（2024年3月31日現在）

セルフイー平林	（定員5名、入居者5名）	長野市平林
リアン松岡	（定員5名、入居者5名）	長野市松岡
クレール篠ノ井	（定員5名、入居者0名）	長野市篠ノ井
みらいコーポ稲葉	（定員7名、入居者7名）	長野市稲葉

6 利用者の状況

利用者の年齢	40代 5名 50代 2名 60代 5名 70代 5名 平均年齢60.1歳	障害支援区分	区分2 5名 区分3 9名 区分4 2名 区分5 1名
経済状況	障害年金基礎 16名 障害年金厚生 3名 生活保護 5名	日中活動状況 (延べ利用者数)	就労継続支援B型 9名 生活介護 1名 一般就労 1名 デイサービス 3名 デイケア 4名
ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・セルフイー平林 部屋の片づけ、夕食作り ・リアン松岡 ギター演奏 ・クレール篠ノ井 ハンドマッサージ ・みらいコーポ稲葉 ピアノ伴奏、壁画、おやつ作り 	ホーム内活動	行事：誕生日会、クリスマス会、食事会（外食） その他：メンバー会（月1回）、防災訓練（年2回）
		実習生受け入れ	長野看護専門学校 清泉女学院大学看護学部

IV 2023年度 短期入所事業 事業報告

みらいコーポ稲葉（1床）長野市稲葉

1 総括

2023年度は、見学から新規利用に繋がるケースが多く、新規利用者も含め、大勢の利用があった。利用時には安心して利用していただけるよう個別に支援内容を確認し、職員間での情報共有を丁寧に行った。また家族、関係機関とも利用前後には情報交換を行い、継続利用の必要な利用者については、目的が達せられるように工夫、調整を行った。

2 利用者の状況

	2022年度	2023年度
延べ利用者数	315名	450名
障害支援区分	区分1 5名	区分1 4名
	区分2 9名	区分2 16名
	区分3 4名	区分3 2名
	区分4 3名	区分4 4名

V 2023年度 地域活動支援センター 事業報告

地域活動支援センターⅢ型S オレンジ若里 定員20名
 長野市若里4丁目5-28 TEL: 026-217-8002 FAX: 026-285-0579

1 総括

登録者数133名 新規登録者29名

2023年度、5月に「皆神ハウス」から若里地区へ移転をし、名称も「オレンジ若里」に変更した。利便性が良いことから、今まで少なかった長野市北部・南部相談支援センター、障害者就労・生活支援センターからの紹介も増え、見学者・利用登録者共に増加している。オレンジ若里は部屋数が多く、それぞれ交流室、相談室、ギャラリースペース等多様な使い方が可能であり、利用者主体の活動に力を入れた。また、家族茶話会専用の玄関と部屋を設けたため、利用が増え相互理解、相互支援へと家族の結束が高まった。

プログラム内容は従来の内容に加え、近所のスーパーへの買い物等利用者からの希望を取り入れ、種類を増やして取り組んできた。また、オレンジ若里の周知を図り、若里地区や近所の方々との関係をつくるため、ギャラリーを活用した地域住民の方の作品展示を行った。

3 利用者の状況

(1) 年齢

20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
9	24	36	33	21	10	133

(3) 保健福祉

精神障害者保健福祉手帳	療育手帳	身体障害者手帳
113	13	3

(4) 生活の状況

家族と同居	グループホーム	一人暮らし	入院中
93	7	32	1

(5) 在宅地域・活動場所

長野市	千曲市	上田市	須坂市	坂城町	その他の地域	一般就労	A型・B型・移行
116	10	3	2	1	1	29	29

4 職員配置

所長：1名（常勤・専従）、支援員：3名（常勤・専従1名 非常勤・専従2名）

5 利用実績(延べ数)

開所日数	234日	家族来所者	202名
利用登録者数	133名	見学者	47名
利用者数	4,879名	実習生受け入れ	10名
来所相談	3,374件	ボランティア参加	268名
電話相談	2,243件	関係機関来所者	302名
訪問	6件	メール等	42件
同行	3件		

6 事業内容

(1) 創作的活動及び講座等プログラム活動

- ・ 手しごとカフェ（6回）
- ・ コラージュ（11回）
- ・ 食事に関するプログラム 新さんの料理教室・ランチ会等（33回）
- ・ 音読会・和田登さんの本読み聞かせ（14回）
- ・ ギターを弾いてみよう・季節の歌を楽しむ会（4回）
- ・ 麻雀・将棋（30回）

(2) 野外活動

- ・ お花見(青垣公園) 4月12日
- ・ 散策 9月29日、10月19日
- ・ バーベキュー 7月28日
- ・ 小諸懐古園 11月15日
- ・ 新年会・善光寺 2月28日

(3) 生産活動

- ・ 喫茶コーナー従事（12回）
- ・ 看板作り等（6回）

(4) 普及啓発に関する事業

- ・ リーフ通信（12回発行）
- ・ ギャラリー展示 7回 地域の方を中心に開催

(5) ボランティア活動

書道、創作活動、喫茶オレンジ・手しごとカフェ・ギターを弾いてみよう等に協力。

7 当事者育成事業

体験発表、メンバー会、ひまわりの会、ピアカウンセリング、家族会、音読会等

8 研修生・実習生受け入れ

長野大学（1名） 長野看護専門学校（2名） 日本福祉大学ボランティア実習（1名）
社会事業大学（1名） 清泉女学院大学看護実習（4名） 長野保健医療大学看護実習（1名）
精神保健福祉ボランティア養成講座(10名)

VI-1 2023年度 相談支援事業 事業報告

絆の会相談室

長野市稲葉15-7 TEL：026-217-6637 FAX：026-213-6444

(職員：長野市委託相談員1名、相談支援専門員4名(うち市地域移行支援専門員1名))

1 総括

長野市の委託事業である障害者相談支援事業については、4月、5月と法人内の体制がとれず6月から受託した。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し地域移行支援の依頼が増えてきたため、指定一般相談支援事業所には積極的に地域移行支援を依頼した。

主任相談支援専門員は法人内や外部の相談支援専門員活動を支援するだけでなく、長野市の自立支援協議会にも積極的に参加してきた。自立生活援助事業は相談支援専門員との連携を強化したことで、利用者数が増えた。

2 計画相談支援・地域相談支援事業

計画相談支援は、利用者の希望だけでなく、必要時にはモニタリングの頻度をあげて支援することが出来た。地域移行支援は、地域移行コーディネートセンターや精神科病院と連携して支援を進めたが、精神科病院の感染症対策により支援が中断することもあった。地域定着支援は、4名が利用。安定した地域生活を継続していかれるよう体制づくり等の支援を行った。

障害支援区分の認定調査は13件行った。

3 自立生活援助事業

引き続きグループホームを退去した方、実家から出て新たに一人暮らしを始めた方、家族の入院等で急に単身生活になった方などに対し、相談支援専門員と連携しながら訪問による支援を行った。また、訪問だけでなく生活に必要な備品の購入や様々な手続きへの同行支援も行った。相談支援専門員との連携を強化し、サービス希望に対しては素早く対応した。実人数13名の支援を行った。

4 長野市受託事業

(1) 長野市障害者相談支援事業・南部障害者相談支援センター

長野市川中島町今井1387-5 ハーモニー桃の郷3階 TEL：026-274-5871

開設時間：8：30～17：15（月～金曜日）

① 総括

職員体制を整え2023年6月から事業を受託した。相談窓口としての役割が市民にも周知されてきており、相談件数は増加傾向にある。自立支援協議会（長野市障害ふくしネット）では、新たに地域課題のワーキンググループが増えてきたため、課題解決に向けて多くの会議に参加した。

② 活動実績

令和5年度相談件数実績

1 相談件数

長野市南部障害者相談支援センター
社会福祉法人 絆の会

(1)相談した障害者等の人数

(実人数)

項目	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
身体障害	障害者	0	0	2	7	5	3	6	9	13	12	5	7	69
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	2	7	5	3	6	9	13	12	5	7	69
重症心身障害	障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	障害者	0	0	8	6	14	1	13	20	14	21	18	13	128
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	8	6	14	1	13	20	14	21	18	13	128
精神障害	障害者	0	0	27	24	30	27	33	28	30	34	27	25	285
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	27	24	30	27	33	28	30	34	27	25	285
発達障害	障害者	0	0	0	0	0	1	7	3	2	7	1	17	38
	障害児	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	4
	計	0	0	1	1	0	1	8	4	2	7	1	17	42
高次脳機能障害	障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	障害者	0	0	0	3	5	3	3	4	4	1	8	11	42
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	3	5	3	3	4	4	1	8	11	42
合計	障害者	0	0	37	40	54	35	62	64	63	75	59	73	562
	障害児	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	4
	合計	0	0	38	41	54	35	63	65	63	75	59	73	566

(2)支援方法

(延件数)

訪問	0	0	5	4	4	3	2	5	7	5	1	6	42
来所相談	0	0	6	1	2	1	6	3	1	5	1	4	30
同行	0	0	2	0	2	2	4	4	2	4	3	1	24
電話相談	0	0	15	21	28	26	40	23	28	31	21	61	294
電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個別支援会議	0	0	0	1	0	1	0	3	2	2	1	1	11
関係機関	0	0	34	53	51	37	69	69	58	78	65	77	591
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
合計	0	0	62	80	87	70	121	107	99	125	92	151	994

(3)支援内容

(延件数)

福祉サービスの利用等	0	0	56	60	69	56	65	85	80	118	87	117	793
障害や症状の理解	0	0	22	13	2	3	2	8	1	7	5	3	66
健康・医療	0	0	15	16	1	6	4	4	3	6	1	10	66
不安の解消・情緒安定	0	0	35	11	4	0	4	4	2	3	3	3	69
保育・教育	0	0	2	3	4	0	2	3	0	0	4	4	22
家族・人間関係	0	0	28	10	2	2	9	3	0	8	6	2	70
家計・経済	0	0	6	9	3	9	21	12	4	5	0	12	81
生活技術	0	0	18	25	32	10	55	42	51	59	52	77	421
就労関係	0	0	37	42	28	49	36	47	45	59	36	53	432
社会参加・余暇活動	0	0	20	10	18	2	10	4	10	9	4	12	99
権利擁護	0	0	1	1	2	5	0	1	0	2	3	1	16
その他	0	0	1	3	6	2	9	2	0	1	4	3	31
合計	0	0	241	203	171	144	217	215	196	277	205	297	2,166

(4)相談者別件数

(延件数)

相談者別	本人	0	0	14	14	15	25	31	26	30	36	18	42	251
	家族	0	0	21	20	25	5	25	21	13	16	8	30	184
	その他	0	0	59	65	58	49	78	93	78	92	70	85	727
合計		0	0	94	99	98	79	134	140	121	144	96	157	1,162

(5)障害別件数

(延件数)

障害別	身体障害	0	0	3	13	6	3	6	16	19	24	8	16	114
	知的障害	0	0	21	18	19	3	24	41	23	33	28	35	245
	精神障害	0	0	37	42	54	59	74	38	48	57	43	42	494
	発達障害	0	0	1	2	0	1	14	6	4	10	1	37	76
	その他	0	0	0	5	8	4	3	6	5	1	12	21	65
合計		0	0	62	80	87	70	121	107	99	125	92	151	994

(2) 長野市障害者地域移行コーディネーターセンター

① 総括

精神科病院、更生保護施設、救護施設だけでなく他圏域の障害者相談支援センター、他市町村の担当課や保健センターなどからも地域移行に関わる相談受け、双方のコーディネーターや指定一般相談事業所等と連携をとり対応するケースが多かった。新型コロナウイルスの影響により中断するケースもあったが、他法人の指定一般相談支援事業所と情報の共有に努めたことで、地域の支援体制の強化に繋がった。

② 活動実績

協議会又は地域自立支援協議会への参加 43回
 圏域及びネットワーク会議への参加 21回
 支援者数 50名
 退院者数 6名

《退院者の内訳》

男性	5	平均年齢51.6歳	入院期間	1年未満	3年未満	5年未満	10年未満
女性	1	平均年齢50歳	人数	2	1	0	3

《退院先一覧》

宿泊型自立訓練	グループホーム
2	4

③ 年間相談件数

訪問	相談 (来所含む)	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	計
65	47	58	0	29	360	559